

Ciné-là

8

シネラ・ニュース
August.2007 No.131

国際フィルム・アーカイヴ連盟=FIAFは
映画の保存を目的とする国際団体です。
福岡市総合図書館はFIAFの会員です。

特別企画

フランス映画の巨匠
ゴダールとロメール

ヌーヴェルヴァーグ50周年を目前に、フランス映画の世界的巨匠ゴダールとロメールの特集。



「映画史」



「恋の秋」

特別企画

日本映画学校作品選

「踊る大捜査線」の本広克行監督、「フラガール」の李相日監督など
注目の人材を輩出し続ける日本映画学校の作品特集。



「キネマ通りの人々」



「青～chong～」

特別企画

日本映画学校作品選

「踊る大捜査線」の本広克行監督、「フラガール」の李相日監督など注目の人材を輩出し続ける日本映画学校の作品特集。

主催:福岡市総合図書館 映像ホール・シネラ実行委員会 日本映画学校

会期:8月1日(水)~12日(日) ※休館日・休映日を除く

観覧料:600円(大人) 500円(大学生・高校生) 400円(中学生・小学生)

※定員制。各回入替制。※チケットはすべて当日券。前売り券はありません。

※障がいの方及び福岡市在住の65歳以上の方は300円。(手帳の呈示が必要です。)

※「わの会」会員は300円(会員証の呈示が必要です。)

プログラム A

5【日】
11:00 | 10【金】
14:00

「風にのせて」

2006年度卒業制作作品
2007年/16ミリ/カラー/33分

監督:吉川里絵

出演:鳥居紀彦 佐藤美由紀



「Sunday」

2006年度卒業制作作品
2007年/16ミリ/カラー/40分

監督:若林将平

出演:松浦竜樹 坂野真理

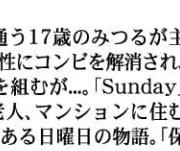


「保健」

2006年度卒業制作作品
2007年/16ミリ/カラー/40分

監督:山梶貴久

出演:小笠原翼 上野真未



「風にのせて」は高校の音楽科に通う17歳のみつるが主人公。今までコンビを組んでいた女性にコンビを解消され、幼なじみの女性と新たにコンビを組むが...。「Sunday」はマンション建設反対を続ける老人、マンションに住む建設推進派の市議とその娘などのある日曜日の物語。「保健」は保健室に入り浸る17歳の浩介が主人公。ある日浩介は友人の妹から駆け落ちの相談を受ける。

プログラム B

3【金】
14:00 | 12【日】
14:00

「ブリキの鼓動」

1998年度卒業制作作品
1999年/16ミリ/カラー
アニメーション/20分

監督:小山保徳



「君は裸足の神を見たか」

1986年/35ミリ/カラー/100分

監督:金秀吉

出演:石橋保 洞口依子



「ブリキの鼓動」はネジ巻きで動くブリキの人形を主人公にしたアニメーション。街に飛び出した人形の小さなファンタジーを描く。「君は裸足の神を見たか」は親友である茂と真二の物語。高三の夏、真二は好きな子がいることを茂に告げる。しかしその少女は実は茂を好きだった。全編が秋田県角館でロケされ、多感で純粋な若者の青春が描かれる。

プログラム C

1【水】
14:00 | 12【日】
11:00

「月から落ちてきたうさぎ」

2004年度卒業制作作品
2005年/ビデオ/カラー
アニメーション/15分

監督:宇賀神光佑



「福本耕平かく走りき」

1992年/35ミリ/カラー/115分

監督:久保田傑

出演:峰野勝成 小松美雪

「月から落ちてきたうさぎ」は月に住むウサギが地球に落ちてきて見せ物にされるアニメーション。カッパたちが協力してウサギを月に帰そうとする。「福本耕平かく走りき」は福島県の農村で陸上に打ち込む高校生、福本耕平の青春を描いた作品。耕平が兄の死や進路の問題にぶつかりながら生き方を模索する姿がみずみずしく描かれる。

「日本映画学校の映画教育」

5【日】
14:00
~15:00



講師:佐藤忠男(日本映画学校校長)

1930年生まれ。56年に最初の映画評論集を発表。以後「黒澤明の世界」「小津安二郎の芸術」「日本映画史」「上海キネマポート」「韓国映画の精神」などアジア映画を中心にその著書は140冊を越える。91年~2006年までアジアフォーカス・福岡映画祭ディレクターを務める。96年勲四等旭日小綬章を受章。2002年には韓国文化勲章を受章。96年から日本映画学校校長となり、若い映画人の育成に情熱を注いでいる。

※講演は有料で、当日の15時10分からのプログラムJとセット料金です。

※開場は開演の30分前。前売り券はありません。

プログラム D

3【金】
17:00 | 11【土】
14:00

「ファザーレス・父なき時代」

1996年度卒業制作作品
1997年/ビデオ/カラー
ドキュメンタリー/60分

監督:茂野良弥



「熊笹の遺言」

2002年度卒業制作作品
2003年/ビデオ/カラー
ドキュメンタリー/60分

監督:今田哲史



「ファザーレス・父なき時代」は監督の友人、村石雅也の自分発見の旅を描いたドキュメンタリー。折衝した青春を送る雅也は故郷の長野に帰り、家族と向き合う。フィクションを越えたドキュメンタリーとして、劇場公開された。「熊笹の遺言」は群馬県のハンセン病療養所で暮らす人々を描いたドキュメンタリー。療養所で暮らす人々が魅力的な一人の人間として描かれている点が特筆される。

プログラム E

4【土】
17:00 | 9【木】
14:00

「URINARA(祖国)」

2005年度卒業制作作品
2006年/ビデオ/カラー
ドキュメンタリー/60分

監督:河真鮮



「あんによんキムチ」

1998年度卒業制作作品
1999年/ビデオ/カラー
ドキュメンタリー/60分

監督:松江哲明



「URINARA(祖国)」は在日韓国人の高校生である主人公が、兵役の義務があることを知り、事実を確かめに韓国に行くドキュメンタリー。軍への体験入隊などを経て自分自身について考えていく。「あんによんキムチ」は日本国籍を持つ在日韓国人でキムチ嫌いの監督自身が、自分の祖父や家族そして韓国人であることをテーマにしたドキュメンタリー。

プログラム F

2【木】
14:00 | 11【土】
11:00

「お先真っ白」

2000年度卒業制作作品
2001年/16ミリ/カラー/30分

監督:向谷地隼人

出演:野中和行 井上淳士



「はい毎度！」

1997年度卒業制作作品
1998年/16ミリ/カラー/40分

監督:ファン・ビヨングク

出演:金俊錫 野上正義



「キネマ通りの人々」

2001年度卒業制作作品
2002年/16ミリ/カラー/45分

監督:山内麻里子

出演:蒼井優 佐藤允

「お先真っ白」はやりたいことが何もない高校三年生の物語。夏休みになんとなく始めたアルバイト先にはちょっと面白い人がいた。「はい毎度！」は日本語学校に通う韓国人・李の物語。やっと見つけたバイトはソバ屋の出前持ちで、社長は李に冷たい態度をとる。「キネマ通りの人々」は東京下町の名画座「小鳥座」に集まる映画好き達を描いた心温まるドラマ。常連の夏子の夢は脚本家、もぎりの灰谷の夢は俳優だった。

プログラム G

2【木】
17:00 | 11【土】
17:00

「レンニュウ」

2002年/16ミリ/カラー/55分

監督:立松真衣

出演:浅見れいな 木村波彦



「Living in Babylon」

2002年度卒業制作作品

2003年/16ミリ/60分

監督:金澤佑太 出演:田部元樹 横川康次

「レンニュウ」はキャバクラで働く女性太田満の物語。父親が死んでも母親は墓を作らない、満は一念発起父の墓を買うことにする。「Living in Babylon」は元4回戦ボクサー、西岡の物語。目を負傷してヤクの売人になった西岡の元に、かつて同じジムでしのぎを削っていた友人の博之が薬を買いに来る。二人は2年ぶりの再会だった。

プログラム H

4【土】
14:00 | 8【水】
14:00

「歩くチカラ」

2004年/16ミリ/カラー/55分

監督:福田陽平

出演:服部妙子 木下ほうか



「everything」

2005年度卒業制作作品

2006年/16ミリ/カラー/45分

監督:石黒晋也 出演:栗生瞳 藤川俊生

「歩くチカラ」は就職したところに母親が若年性アルツハイマーになってしまった亮太の物語。姉と交際するが、次第にみんなの負担に耐えられなくなる。「everything」は母親に会いたくて施設を抜け出した二人の子供の物語。10年の時が経ち、男はチンピラ、女はホテル嬢になり別々に暮らしていた。ある日二人は偶然出会い…。

プログラム I

4【土】
11:00 | 9【木】
17:00

「僕達はくり返していく」

2004年度卒業制作作品

2005年/16ミリ/カラー/55分

監督:菊池夢高

出演:伊崎充則 たうみあきこ



「ファンキー・ライフスタイル」

2005年度卒業制作作品

2006年/16ミリ/カラー/50分

監督:馬越可奈 出演:今村有希 石井トミコ

「僕達はくり返していく」は無気力に暮らす耕の物語。突然祖母が交通事故で昏睡状態に陥る。耕は回りの反対を押し切り祖母の在宅介護を始める。「ファンキー・ライフスタイル」は関西の港町を舞台にしたユニークなドラマ。新婚の圭太と友子の元に祖母のキクが突然泊まり込み、まったく実家に帰らない。甘い新婚生活が送れない二人を尻目にキクはわがままを言いたい放題だった。

プログラム J

5【日】
15:10 | 10【金】
17:00

「青～chong～」

1998年度卒業制作作品

1999年/16ミリ/カラー/50分

監督:李相日

出演:眞島秀和 竹本志帆



「エイン」

2005年度卒業制作作品

2006年/16ミリ/カラー/45分

監督:モンティンダン 出演:ファン・テッキン・ウイン 光石研

「青～chong～」は朝鮮高校三年生の楊の物語。ある日姉が日本人の恋人を連れて来たり、学校の野球部が高野連に加盟し、マスコミに取り上げられたり、楊の回りは騒がしい。「あいのフィルムフェスティバル」でグランプリを受賞、李監督が一躍注目された作品。「エイン」はミャンマーから日本にやって来た13歳のアウンメイの物語。日本に馴染めないアウンメイは父親と喧嘩して弟と一緒に家出してしまう。

特別企画 ヌーヴェルヴァーグ50周年を前に、フランス映画の世界的巨匠ゴダールとロメールの特集。

ゴダールと ロメール

ロメール

会期：8月15日(水)

～26日(日)

※休館日・休映日を除く

観覧料：800円(大人)
700円(大学生・高校生)
600円(中学生・小学生)
2,100円(3回券)

※定員制。各回入替制。
※チケットはすべて当日券。前売り券はありません。

※障がいの方及び福岡市在住の65歳以上の方は400円。(手帳の呈示が必要です。)

※「わの会」会員は400円(会員証の呈示が必要です。)

配給：フランス映画社

Jean-Luc Godard



16【木】
16:00
22【水】
13:00
26【日】
11:00

映画史 第I部

HISTOIRE(S) DU CINEMA
監督：ジャン=リュック・ゴダール

1998年／ビデオ／カラー／149分／フランス
日本語字幕付き

ゴダールの「映画史を映画にする」という途方もない構想は77年に始まったとされる。古今のゴダールが愛した映画をビデオ化し、モンタージュを繰り返す。劇映画、ドキュメンタリー、ニュース映画から詩、小説、絵画や彫刻など、この映画は様々な芸術の引用で成り立っている。全8章4時間30分にまとめられた「映画史」の第1章から第4章「すべての映画」「ただ一つの歴史」「映画だけが」「命がけの美」までを第I部として上映。



フォーエヴァー・モーツアルト

FOR EVER MOZART
監督：ジャン=リュック・ゴダール
出演：ヴィッキー・メシカ
マドレーヌ・アサス
1996年／35ミリ／カラー／85分／フランス=ドイツ=イスラ
日本語字幕付き

映画監督ヴィッキーは大物プロデューサーに「宿命のボレロ」という映画の演出を頼まれる。ヴィッキーの娘カミーユは、サラエヴォで起きている戦争に対して文化的に行動すべきだと、サラエヴォに旅立つ。ボスニア・ヘルツェゴヴィナ戦争の時期に製作された本作は、演劇、戦争、映画、そして音楽の4つの要素で構成されている。戦争の中にあってゴダールは「フォーエヴァー・モーツアルト」と語るのだ。

Eric Rohmer



15【水】
13:00
18【土】
17:00
23【木】
19:00

春のソナタ

CONTE DE PRINTEMPS

監督：エリック・ロメール
出演：アンヌ・ティセードル
フロランス・ダレル
1989年／35ミリ／カラー／110分／フランス
日本語字幕付き

エリック・ロメール監督「四季シリーズ」の第一話。従姉妹にアパートの部屋を貸した哲学教師のジャンヌと、父親の若い恋人が気に入らないナターシャがあるパーティで出会う。ジャンヌを気に入ったナターシャは、彼女を自宅に泊めて父親との仲を取り持とうとする。春のパリ、木々の新芽が芽吹くフォンテーヌブローを舞台に、三人の女性達の細やかな心の動きが鮮やかに描かれている。



16【木】
19:00
22【水】
16:00
26【日】
14:30

映画史 第II部

HISTOIRE(S) DU CINEMA
監督：ジャン=リュック・ゴダール

1998年／ビデオ／カラー／119分／フランス
日本語字幕付き

「映画史第II部」は「映画史」の第5章から第8章まで、「絶対の貨幣」「新たな波」「宇宙のコントロール」「微は至る所に」を上映する。本作はデジタルビデオによる大スクリーンでの上映こそが最良の鑑賞方法とされており、一般映画館ではほとんど上映されていない。映画を愛して止まないゴダールが、10年の歳月をかけて完成させた渾身の傑作である。



17【金】
16:00
22【水】
19:00
25【土】
11:00

ウイークエンド

WEEK-END

監督：ジャン=リュック・ゴダール
出演：ミレイユ・ダルク
ジャン・ヤンヌ

1967年／35ミリ／カラー／104分／フランス=イタリア
日本語字幕付き

パリに住むロランとコリンヌ夫妻は、週末にコリンヌの実家に車で出かける。死にかけているコリンヌの父親の遺産相続が目的だった。しかし二人は渋滞に巻き込まれて…。本作は60年代のゴダール作品の頂点とも言える作品。「宇宙にさよなら」の形容がピッタリの、破天荒で理解不能な叙事詩的物語、溢れんばかりの言葉と音の洪水など、この映画は正にヌーベル・ヴァーグを体現した傑作である。



フレディ・ビュアシュへの手紙

LETTRE À FREDDY BUACHE
監督：ジャン=リュック・ゴダール
1981年／35ミリ／カラー／12分／スイス

JLG/自画像

JLG AUTOPOTRAIT DE DECEMBRE
監督：ジャン=リュック・ゴダール

出演：ジャン=リュック・ゴダール
ジュヌヴィエーヴ・バスキエ
1995年／35ミリ／カラー／56分／フランス=スイス
両作品共 日本語字幕付き

「フレディ・ビュアシュへの手紙」はローザンヌ・シネマテークの創始者フレディ・ビュアシュへのゴダールからの映像による手紙である。ナレーションはゴダール自身。「JLG/自画像」は、93年冬から94年春にかけてゴダールの自宅やアトリエで撮影された。本作はドキュメンタリーではなく、ゴダールが自分自身を主人公にして描いた映像によるエッセイとでもいうべきである。



はなればなれに

BANDE À PART

監督：ジャン=リュック・ゴダール

出演：アンナ・カリーナ サミー・フレイ
1964年／35ミリ／モノクロ／96分／フランス
日本語字幕付き

冬のパリ。フランスとアルチュールは性格が正反対の親友。北欧から来て英語教室に通うオディールはフランスのクラスメイト。彼女は叔母の屋敷に大金があることをフランスに教える。金がないフランスとアルチュールはお金を盗むことを思い立つ。同時に二人はオディールを好きになる。三人はまるで冗談のように強盗計画を練るのだが…。

本作は、ゴダールが「勝手にしやがれ」の続編と言い、ジム・ジャームッシュやヴィム・ヴェンダースなど世界の巨匠が、ゴダール映画のベストワンと愛して止まない傑作である。ところが本作は完成とともにアメリカの配給会社に買収され、フランス以外の国ではほとんど上映されずにお蔵入りしていた。そして90年代に版権が切れ、日本を始め世界各国でやっと見られるようになった幻の映画なのである。キュートで魅力満点のヒロイン、アンナ・カリーナ、間抜けな三人組の愉快な泥棒作戦、ギャグを満載したゴダールならではの即興演出など、映画自体が若さに溢れた作品である。



15【水】
19:00
19【日】
11:00
24【金】
16:00

夏物語

CONTE D'ETE

監督：エリック・ロメール

出演：メルヴィル・ブローニー

アマンダ・ラングレ
1996年／35ミリ／カラー／114分／フランス
日本語字幕付き

エリック・ロメール監督「四季シリーズ」の第三話。ガスパールは大西洋に面したブルタニュ地方の保養地ディナールにバカンスにやって来る。彼は恋人のレナが後から来るのを待っていた。しかしガスパールはレストランでバイトするマルゴや、ディスコで知り合ったソレーヌにも惹かれていく。夏のバカンス中の微妙な恋模様が、光輝くディナールの風景と共に凝縮された作品。



16【木】
13:00
18【土】
11:00
24【金】
19:00

恋の秋

CONTE D'AUTOMNE

監督：エリック・ロメール

出演：マリー・リヴィエール

ペアトリス・ロマン
1998年／35ミリ／カラー／112分／フランス
日本語字幕付き

エリック・ロメール監督「四季シリーズ」の完結編。マガリはローヌ渓谷のぶどう園でワイン作りをしていたが、独り身で孤独だった。親友のイザベルはマガリのために結婚相手を探す新聞広告を出す。そして彼女の眼鏡にかかった男性をマガリに紹介しようとする。ロメール監督が最も好きな季節という「秋」。熟成したワインのような繊細で芳醇な大人の恋の物語が展開する。ロメール監督の最高傑作との評価もある作品。

8月

上映スケジュール

日本映画学校作品選

| | | | |
|------|----------------------|--------------------------|--------------------------|
| 1 水 | 14:00 プログラム C | | |
| 2 木 | 14:00 プログラム F | 17:00 プログラム G | |
| 3 金 | 14:00 プログラム B | 17:00 プログラム D | |
| 4 土 | 11:00 プログラム I | 14:00 プログラム H | |
| 5 日 | 11:00 プログラム A | 14:00 15:10 講演 プログラム J | |
| 6 月 | 休館日 | | |
| 7 火 | 休映日 | | |
| 8 水 | 14:00 プログラム H | | |
| 9 木 | 14:00 プログラム E | 17:00 プログラム I | |
| 10 金 | 14:00 プログラム A | 17:00 プログラム J | |
| 11 土 | 11:00 プログラム F | 14:00 プログラム D | |
| 12 日 | 11:00 プログラム C | 14:00 プログラム B | |
| 13 月 | 休館日 | | |
| 14 火 | 休映日 | | |
| 15 水 | 13:00 春のソナタ | 16:00 冬物語 | 19:00 夏物語 |
| 16 木 | 13:00 恋の秋 | 16:00 映画史 第I部 | 19:00 映画史 第II部 |
| 17 金 | 13:00 はなればなれに | 16:00 ウィークエンド | 19:00 フォーエヴァー・モーツアルト |
| 18 土 | 11:00 恋の秋 | 14:00 冬物語 | 17:00 春のソナタ |
| 19 日 | 11:00 夏物語 | 14:00 はなればなれに | 17:00 フレディ・ピュッシュへの手紙/JLG |
| 20 月 | 休館日 | | |
| 21 火 | 休映日 | | |
| 22 水 | 13:00 映画史 第I部 | 16:00 映画史 第II部 | 19:00 ウィークエンド |
| 23 木 | 13:00 フォーエヴァー・モーツアルト | 16:00 フレディ・ピュッシュへの手紙/JLG | 19:00 春のソナタ |
| 24 金 | 13:00 冬物語 | 16:00 夏物語 | 19:00 恋の秋 |
| 25 土 | 11:00 ウィークエンド | 14:00 はなればなれに | 17:00 フォーエヴァー・モーツアルト |
| 26 日 | 11:00 映画史 第I部 | 14:30 映画史 第II部 | 17:00 フレディ・ピュッシュへの手紙/JLG |
| 27 月 | 休館日 | | |
| 28 火 | 休映日 | | |
| 29 水 | ▶ 31 金 | | |

フランス映画の巨匠ゴダールとロメール

■第91回 福岡日伊協会映画鑑賞会■

追悼 ルイジ・コメンチーニ監督作品「パンと恋と夢」

監督:ルイジ・コメンチーニ/出演:ヴィットリオ・デ・シーカ、ジーナ・ロロブリジダ他

日 時:2007年9月6日(木)19:00~21:00 ※入場無料・先着120名

会 場:あじびホール(福岡アジア美術館8F) TEL092-263-1100

主 催:福岡日伊協会 TEL092-476-1111(西日本シティ銀行内)

協 力:財団法人福岡文化財団

西部ガスグループが提案する
シニアの邸宅。



アンペレーナ百道

介護付有料老人ホーム<一般型特定施設入居者生活介護>予定

モデルルーム公開中

福岡市図書館より海方向へ徒歩約5分。

TNC放送会館内

☎ 0120-312-814

(社)全国有料老人ホーム協会会員
西部ガスライフサポート(株)



日本映画学校について

日本映画学校は映画監督今村昌平が1975年に開校した「横浜放送映画専門学院」が前身です。1985年、神奈川県川崎市の文化ゾーン、新百合ヶ丘に移転し、名称を「日本映画学校」と改めました。世界50カ国の映像教育機関で構成されているCILECT(国際映画テレビ学校連絡センター)の会員校として認められている日本で唯一の専門学校です。卒業生には、映画監督の三池崇史、佐々部清、本広克行、タレントのウッチャンナンチャン、劇作家のケラリーノ・サンドロヴィッチらがいます。

本校では、現在の日本映画界の第一線で活動している多くの監督や映像スタッフを講師として招いています。少人数ゼミ形式での映画制作を通して、映画作りの基礎から徹底的に学びます。

卒業制作作品は国内外の映画祭で、数多くの受賞歴があります。また、アート系の映画館でロードショー公開されたものも少なくありません。「フラガール」の李相日監督は、卒業制作「青～chong～」で力量を認められ、プロの監督になりました。

昨年、アジアフォーカス福岡国際映画祭で韓国映画「ウェディング・キャンペーン」が公開されました。このファン・ビヨングク監督も本校の卒業生です。彼の卒業制作「はい毎度！」と、ミャンマー人学生による昨年の卒業制作「エイン」も上映されました。これらがたいへん好評で、これがきっかけとなり、福岡市総合図書館で上映会が行われる事になりました。

〈日本映画学校 広報課〉



アジアフォーカス映画講座“シネマ・デ・アジア”

映画祭を120%楽しむための…「映画祭直前対策講座」トーク&映画上映

日時とゲスト: いずれも18時30分より

- ◆ 8月 8日(水) / 李鳳宇(映画プロデューサー・シネカノン代表取締役)
- ◆ 8月21日(火) / 高樹のぶ子(作家・九州大学アジア総合政策センター特任教授)
- ◆ 8月29日(水) / 石坂健治(東京国際映画祭アジア部門ディレクター)

会 場:福岡市総合図書館映像ホール・シネラ

受 講 料:3,000円(3回連続講座のため、1回のみの受付はありません)

受付方法:7/10~27まで、お名前・ご住所・電話番号を明記の上、ハガキ・FAX

・メールのいずれかでお申し込みください。※定員100名・先着順

問い合わせ・申込み先: アジアフォーカス・福岡国際映画祭事務局

TEL:092-733-5170 FAX:092-733-5595 e-mail:info@focus-on-asia.com

交通アクセス

当館の駐車場スペースに限りがありますので、できるだけ公共交通機関をご利用ください。

地下鉄

● 西新駅または藤崎駅から徒歩15分

西鉄バス

● 天神～都市高速経由～福岡タワー南口(所要時間: 昼間で約20分)

● 博多駅～都市高速経由～福岡タワー南口(所要時間: 昼間で約25分)

● 福岡タワー南口バス停から徒歩3分

いずれも、昼間は10～15分間隔で運行されていますので大変便利です。

お近くのバス停からのご利用につきましては、西日本鉄道テレホンセンター(電話 733-3333)に直接お問い合わせください

合わせてください



Fukuoka City Public Library Movie Hall Ciné-là
福岡市総合図書館映像ホール・シネラ

〒814-0001 福岡市早良区百道浜3丁目7番1号

福岡市総合図書館(代表):092(852)0600

映像資料課:092(852)0608 Fax:092(852)0609

福岡市総合図書館「うえぶシネラ」<http://www.cinela.com>